

# しゃかいふくしほうじんむさし 社会福祉法人六三四

## 六三四たより



社会福祉法人 六三四 法人本部 〒187-0042 東京都小平市仲町364番地1

TEL 042-343-1895 FAX 042-346-0283 e-mail [musashi@musashi1895.jp](mailto:musashi@musashi1895.jp) HP-URL <http://musashi1895.jp/>

### 事業所一覧

#### 地域支援部

#### 生活介護事業

- ・生活リハビリセンター六三四
- ・生活リハビリセンター雅
- ・生活リハビリセンター絆

#### 生活支援部

#### 共同生活援助事業

- ・青粋ケアホーム

- ・彩ケアホーム

#### 短期入所事業

- ・お結び

#### 相談支援部

- ・計画相談支援 障害児相談支援 事業

- ・スカイサポートセンター

### スカイサポートセンターという場所

#### スカイサポートセンター

中井 秀行

4月にスカイサポートセンターに着任いたしました中井と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。私は「忠臣蔵」で有名な製塩の街、兵庫県の赤穂市で生まれました。今年の3月までは障害がある子供たちと一緒に過ごす仕事を27年間してきました。ご縁があってスカイサポートセンターで仕事をさせていただくことになりました。

スカイサポートセンターは相談支援という仕事をしています。主にやっているのは特定相談というサービス等利用計画に関するいろいろな仕事です。障害福祉サービスを使われる皆様がより良く生活できるように一緒にサービスを考えていく相談です。ふだんは目立たない仕事をしてはいますが、受給者証の更新や福祉サービスの追加、モニタリング(中間評価みたいなもの)の時に表に出る仕事です。その他にも、一般的な相談をお受けして関係機関につないだり、一緒に解決策を考えたりして、課題の解決に取り組みます。スカイサポートセンターはサービス利用の皆様の生活に寄り添う相談支援を行っていきけるよう頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



## 施設における言語聴覚士の役割

生活リハビリセンター 雅

言語聴覚士

鳴海 麻衣子

私たちが生活を送るうえで、『ことば』はとても大切な役割を担っています。脳の病気や交通事故、発達の遅延、加齢により、コミュニケーションが難しくなる場合があります。言葉を発するために必要な舌や口唇、声帯などの発声発語器官は、摂食や呼吸のための器官であり、言語障害と食べることの障害には密接な関係があります。言語聴覚士は、言葉や嚥下障害を持った方々に対して、各機能の改善を促進させる訓練、残存能力を利用した日常生活を営むための援助など、個々の症状に合わせた訓練や指導を行っています。また脳に損傷を受け、脳の機能に障害が起こることを総称して『高次脳機能障害』と言います。注意、記憶、遂行、視覚的認知などの症状が出現し、アプローチを行っています。



## このご縁に感謝して

生活リハビリセンター 雅

言語聴覚士

小林 幸

いつもお世話になりありがとうございます。私は30年近く、主に急性期病院で仕事をしてきましたが、夫の転勤で京都から東京に転居してきました。今年の1月から週に2回、生活リハビリセンター 雅で働かせて頂いております。22歳の時、父が脳梗塞による失語症になり、家族として多くの困難を経験しました。それがきっかけで言語聴覚士になりました。

ご利用者様におかれましても、こちらの事業所に繋がるまでに様々な経過を経て来られたと存じます。このいただきましたご縁を大切に、生活の中で楽しみになるようなコミュニケーションの場にしていただけることを目指して、それぞれの発声発語器官や言語機能など個別のご状態に合わせた専門的プログラムをご提供出来るよう、ご利用者様、ご家族様はじめスタッフの皆さまのお力添えをいただきながら精進して参りたいと思っております。至らぬ点が多々ありますが、何かございましたらご遠慮なくお話し頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



## 理学療法について

生活リハビリセンター六三四

理学療法士

寺田 隆吾

理学療法(訓練)を担当して4年目の寺田です。現在は六三四と雅、絆の3施設、約30名の利用者様の対応をさせていただいています。週3回、ひとりで1日平均17,8人の訓練を行っていますが、鍼灸マッサージ師の資格を持つ大学院生の井上さんに授業のない期間に手伝ってもらい大変助かっています。

さて今回は理学療法について書くようにとの依頼です。本によると、理学療法とは病気やケガ、障害などで運動機能が低下した人に対し、運動機能の維持、改善や動作能力の回復を目標に体操や動作訓練等の運動療法や、温熱等の物理療法を用いる治療とあります。難しいことを書いていますが、何か特殊なテクニックを使っているわけではなく(すごい手技を持つ有名な人もいますが、私は持ち合わせておりません!)、基本的には誰にでも簡単にできる運動や動作訓練を反復して行っています。

ではどのようなことに気をつけて訓練を進めていくか? 障害の種類や程度、施設によっても変わりますが、現在の私の立場で考えると、まず第一には何といても対応する方の安全の確保だと思います。

そのために体調を確認し、日頃からその人の限界を予測、把握することで危険な行動や動作を回避し、運動を行う場の環境を整えて安全に実施していくことを心がけています。

第二には、訓練中のどこで介助や声掛けをすれば効果が出やすいか、そのタイミングを常に考えていくことで、単純な反復動作、運動の繰り返しでも効果が出せると考えています。

第三には、一番大事なこと、利用者様とのコミュニケーションを大切にすることです。ひとつには丁寧に対応して信頼関係を築き、体を動かすことは楽しい、リハビリは大切なことだと思ってもらいたい。

もうひとつには、訓練中に何が、どの部分がポイントになるかをお話することで、ご自分の良い所、弱い所を体感できるようになってほしいと考えています。以上のようなことに気をつけて対応を続けることで、皆様の体力や動作能力が維持(とても大切なことです)、向上して、やる気や精神的な励みにもつながれば良いなと思っています。

なかなか目に見える結果が出ずに申し訳ありませんが、今後も一緒に頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。



今後の予定

Table with 4 columns: Date, Event Name, Date, Event Name. Rows include dates from 8月9日 to 9月23日 and 10月8日 to 10月25日, listing events like '山の日・振替休日' and 'メンバー懇談会'.

(毎週月・水・木曜日) 個別理学訓練 (寺田PT)
(毎週水・金曜日) 個別言語訓練 (小林ST)
(毎週月～金曜日) 個別言語訓練 (鳴海ST)

新人職員紹介

廣瀬 友香 6月23日 生活リハビリセンター六三四

社会福祉法人六三四の歴史

昭和61年2月 心身に障害を持つ方々の集団的作業とリハビリテーションの活動により、その社会参加と自立の援助を行うことを目的とした事業を開始する。

昭和61年4月 脳血管障害で倒れ病院退院後、自宅に引きこもっていた方々や、他の障害施設に通所していたが重度の障害により活動が困難な当事者と医療、福祉関係者が中心となり、設立準備委員会が発足する。

平成23年4月 障害者自立支援法移行に伴う事業拠点プロジェクトチーム発足。生活リハビリセンター六三四創設を目標に活動する。

平成24年2月 心身に障がいを持つ方々のリハビリテーションの活動により、その社会参加と自立の支援を行うことを目的として、小平市仲町に生活リハビリセンター六三四創設全面移転するとともに、指定生活介護事業としてスタートする。

平成24年10月 地域密着型施設の創設を目的として、医療ケアを前提とした、生活介護事業所生活リハビリセンター雅創設の検討委員会が発足するとともに、身体専門グループホーム事業及び特定相談支援事業所スカイサポートセンターの小規模多機能型施設開設を目指す。

平成24年11月 将来のビジョンとして、医療分野と連携協働を目指し、喜平リハビリテーションクリニックとの連携協定に調印する。

平成25年1月 喜平リハビリテーションクリニックとの連携協定の調印に伴い喜平町より、現在の仲町六三四敷地内へ創設移転する。

平成25年12月 東京都福祉保健局・小平市障がい者支援課より、生活介護事業所及び、グループホーム事業の許可内示通知を受ける。

平成26年10月 指定生活介護事業・生活リハビリセンター雅、指定共同生活支援事業（介護サービス包括型）・青粋ケアホーム、指定特定相談支援事業所・スカイサポートセンターが創設され事業をスタートする。

平成28年5月 指定障害児相談支援事業が認可され事業スタートする。

平成30年4月 特定非営利活動法人 春望から社会福祉法人 六三四へ移行

令和1年6月 指定生活介護事業・生活リハビリセンター絆、指定短期入所事業・お結びが創設され事業をスタートする。

令和1年10月 共生型通所介護事業デイサービスセンター絆が創設され事業をスタートする。

令和2年8月 彩ケアホームが創設され事業をスタートする。

## 編集後記

生活リハビリセンター六三四

新井 宏次郎

この度は、編集を担当させていただきました生活リハビリセンター六三四の新井と申します。たよりに携わっていただいた方々ご協力ありがとうございました。

今回、編集していく上で、色々な方々に記事を書いて頂き、とても勉強になりました。今後参考にさせていただきます。記事を書いていただいた皆さんが普段、どういった支援方法なのか、どういった訓練内容なのか、支援員として役立つことができるよい機会になりました。

六三四の歴史を編集していく中で、今までどういった経緯で自分が働いている法人があるのか勉強になりました。六三四で働かせていただいている身として、知っておかなければいけないと思いました。

今回のたよりを読んでいただいている方々には、生活リハビリセンター六三四・雅・絆ではどのような訓練や相談支援を行っているのかを少しでもお伝え出来たら何よりです。今後も皆様にはたよりを通じて、生活リハビリセンター六三四・雅・絆それぞれの事業所の雰囲気やイベント事、どういった施設なのか紹介していきたいと思っております。

まだまだ編集は不慣れですが、多くの方に読んでいただけるよう努力していこうと思っております。読んでいただきありがとうございます。

## 令和2年度決算報告

社会福祉法人六三四

第一号第一様式(第十七条第四項関係)  
法人単位資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

(単位:円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収入				
介護保険事業収入		0	0	
就労支援事業収入		0	0	
障害福祉サービス等事業収入	242,134,040	242,230,462	-96,422	
その他の事業収入	2,550,000	2,706,580	-156,580	
収益事業収入	1,260,000	1,260,000	0	
借入金利息補助金収入		0	0	
経常経費寄附金収入	10,000	10,000	0	
受取利息配当金収入	9,000	1,486	7,514	
その他の収入	947,336	930,419	16,917	
流動資産評価益等による資金増加額		0	0	
事業活動収入計(1)	246,910,376	247,138,947	-228,571	
事業活動による支出				
人件費支出	151,224,000	149,842,625	1,381,375	
事業費支出	13,488,098	12,853,245	634,853	
事務費支出	26,675,370	26,435,630	239,740	
就労支援事業支出		0	0	
利用者負担軽減額		0	0	
支払利息支出	556,902	556,902	0	
その他の支出		0	0	
流動資産評価損等による資金減少額		0	0	
事業活動支出計(2)	191,944,370	189,688,402	2,255,968	
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	54,966,006	57,450,545	-2,484,539	
施設整備等による収入				
施設整備等補助金収入	42,356,000	42,587,750	-231,750	
施設整備等寄附金収入		0	0	
設備資金借入金収入		0	0	
固定資産売却収入		0	0	
その他の施設整備等による収入	14,414,700	14,414,700	0	
施設整備等収入計(4)	56,770,700	57,002,450	-231,750	
施設整備等による支出				
設備資金借入金元金償還支出	1,753,794	1,753,794	0	
固定資産取得支出	86,384,766	85,499,646	885,120	
固定資産除却・廃棄支出		0	0	
ファイナンス・リース債務の返済支出		0	0	
その他の施設整備等による支出		0	0	
施設整備等支出計(5)	88,138,560	87,253,440	885,120	
施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	-31,367,860	-30,250,990	-1,116,870	
その他の活動による収入				
長期運営資金借入金元金償還寄附金収入		0	0	
長期運営資金借入金収入		0	0	
長期貸付金回収収入		0	0	
投資有価証券売却収入		0	0	
積立資産取崩収入		0	0	
その他の活動による収入		0	0	
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
その他の活動による支出				
長期運営資金借入金元金償還支出		0	0	
長期貸付金支出		0	0	
投資有価証券取得支出		0	0	
積立資産支出	735,484	726,984	8,500	
その他の活動による支出		0	0	
その他の活動支出計(8)	735,484	726,984	8,500	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	-735,484	-726,984	-8,500	
予備費支出(10)			0	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	22,862,662	26,472,571	-3,609,909	
前期末支払資金残高(12)	73,084,598	73,084,598	0	
当期末支払資金残高(11) + (12)	95,947,260	99,557,169	-3,609,909	

社会福祉法人六三四

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）  
法人単位事業活動計算書

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	0	0	0
	就労支援事業収益	0	0	0
	障害福祉サービス等事業収益	242,230,462	187,950,603	54,279,859
	受託事業収益	2,706,580	2,800,830	-94,250
	収益事業収益	1,260,000	1,260,000	0
	経常経費寄附金収益	10,000	25,000	-15,000
	その他の収益	0	0	0
	サービス活動収益計（1）	246,207,042	192,036,433	54,170,609
	費用			
	人件費	150,024,273	128,199,219	21,825,054
	事業費	12,853,245	11,204,396	1,648,849
	事務費	26,435,630	21,320,689	5,114,941
	就労支援事業費用	0	0	0
利用者負担軽減額	0	0	0	
減価償却費	12,930,299	8,332,962	4,597,337	
国庫補助金等特別積立金取崩額	-3,049,899	-338,841	-2,711,058	
徴収不能額	0	0	0	
徴収不能引当金繰入	0	0	0	
その他の費用	0	0	0	
サービス活動費用計（2）	199,193,548	168,718,425	30,475,123	
サービス活動増減差額（3）=（1）-（2）	47,013,494	23,318,008	23,695,486	
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	0	0	0
	受取利息配当金収益	1,486	442	1,044
	有価証券評価益	0	0	0
	有価証券売却益	0	0	0
	投資有価証券評価益	0	0	0
	投資有価証券売却益	0	0	0
	その他のサービス活動外収益	942,377	951,846	-9,469
	サービス活動外収益計（4）	943,863	952,288	-8,425
	費用			
	支払利息	556,902	491,113	65,789
	有価証券評価損	0	0	0
	有価証券売却損	0	0	0
	投資有価証券評価損	0	0	0
投資有価証券売却損	0	0	0	
その他のサービス活動外費用	11,958	0	11,958	
サービス活動外費用計（5）	568,860	491,113	77,747	
サービス活動外増減差額（6）=（4）-（5）	375,003	461,175	-86,172	
経常増減差額（7）=（3）+（6）	47,388,497	23,779,183	23,609,314	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	42,587,750	960,150	41,627,600
	施設整備等寄附金収益	0	0	0
	長期運営資金借入金元金償還寄附金収益	0	0	0
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	その他の特別収益	0	0	0
	特別収益計（8）	42,587,750	960,150	41,627,600
	費用			
	基本金組入額	0	0	0
	資産評価損	0	0	0
	固定資産売却損・処分損	0	17,474	-17,474
	国庫補助金等特別積立金取崩額（除却等）	0	0	0
	国庫補助金等特別積立金積立額	42,587,750	960,150	41,627,600
災害損失	0	0	0	
その他の特別損失	0	2,484,972	-2,484,972	
特別費用計（9）	42,587,750	3,462,596	39,125,154	
特別増減差額（10）=（8）-（9）	0	-2,502,446	2,502,446	
税引前当期活動増減差額（11）=（7）+（10）	47,388,497	21,276,737	26,111,760	
法人税、住民税及び事業税（12）	0	0	0	
法人税等調整額（13）	0	0	0	
当期活動増減差額（14）=（11）-（12）-（13）	47,388,497	21,276,737	26,111,760	
前期繰越活動増減差額（15）	53,843,716	32,566,979	21,276,737	
当期末繰越活動増減差額（16）=（14）+（15）	101,232,213	53,843,716	47,388,497	
基本金取崩額（17）	0	0	0	
その他の積立金取崩額（18）	0	0	0	
その他の積立金積立額（19）	0	0	0	
次期繰越活動増減差額（20）=（16）+（17）+（18）-（19）	101,232,213	53,843,716	47,388,497	

社会福祉法人六三四

第三号第一様式（第二十七条第四項関係）

法人単位貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	114,922,596	77,324,772	37,597,824	流動負債	21,544,601	10,938,637	10,605,964
現金預金	74,904,214	47,940,345	26,963,869	短期運営資金借入金			0
有価証券			0	事業未払金	930,885	887,611	43,274
事業未収金	35,355,140	27,515,413	7,839,727	その他の未払金			0
未収金			0	支払手形			0
未収補助金	3,643,242	846,764	2,796,478	役員等短期借入金			0
未収収益			0	1年以内返済予定設備資金借入金	1,779,842	1,753,795	26,047
受取手形			0	1年以内返済予定長期運営資金借入金			0
貯蔵品			0	1年以内返済予定リース債務			0
医薬品			0	1年以内返済予定役員等長期借入金			0
診療・療養費等材料			0	1年以内支払予定長期未払金			0
給食用材料			0	未払費用	11,527,870	1,330,574	10,197,296
商品・製品			0	預り金	5,000		5,000
仕掛品			0	職員預り金	2,796,672	1,899,989	896,683
原材料			0	前受金			0
立替金		2,250	-2,250	前受収益	105,000	105,000	0
前払金			0	仮受金		17,000	-17,000
前払費用	1,020,000	1,020,000	0	貸与引当金	4,399,332	4,944,668	-545,336
1年以内回収予定長期貸付金			0	その他の流動負債			0
短期貸付金			0				
仮払金			0				
その他の流動資産			0				
徴収不能引当金			0				
固定資産	212,666,240	153,784,609	58,881,631	固定負債	39,117,568	40,170,425	-1,052,857
基本財産	157,876,332	110,848,880	47,027,452	設備資金借入金	35,024,488	36,804,329	-1,779,841
土地			0	長期運営資金借入金			0
建物	157,876,332	110,848,880	47,027,452	リース債務			0
定期預金			0	役員等長期借入金			0
投資有価証券			0	退職給付引当金	4,093,080	3,366,096	726,984
その他の固定資産	54,789,908	42,935,729	11,854,179	長期未払金			0
土地			0	長期預り金			0
建物	8,598,212	7,123,546	1,474,666	受取保証金			0
構築物	20,024,857	2,055,625	17,969,232	その他の固定負債			0
機械及び装置			0	負債の部合計	60,662,169	51,109,062	9,553,107
車輜運搬具	8,665,861	6,279,434	2,386,427				
器具及び備品	4,567,990	3,856,779	711,211	純資産の部			
建設仮勘定			0	基本金	125,535,294	125,535,294	0
有形リース資産			0	基本金	125,535,294	125,535,294	0
権利	4,506,619	4,601,618	-94,999	国庫補助金等特別積立金	40,159,160	621,309	39,537,851
ソフトウェア	198,900	290,700	-91,800	国庫補助金等特別積立金	40,159,160	621,309	39,537,851
無形リース資産			0	その他の積立金	0	0	0
投資有価証券	100,000	100,000	0	人件費積立金			0
長期貸付金			0	修繕費積立金			0
退職給付引当資産	4,093,080	3,366,096	726,984	備品等購入積立金			0
長期預り金積立資産			0	施設整備等積立金			0
その他の積立資産			0	次期繰越活動増減差額	101,232,213	53,843,716	47,388,497
差入保証金			0	(うち当期活動増減差額)	47,388,497	22,236,887	25,151,610
長期前払費用			0				
その他の固定資産	177,610	136,020	41,590	純資産の部合計	266,926,667	180,000,319	86,926,348
資産の部合計	327,588,836	231,109,381	96,479,455	負債及び純資産の部合計	327,588,836	231,109,381	96,479,455